

そうせいたより

2015年
冬号

冬を元気に乗り切る健康対策

感染症から身を守りましょう

放射線科からのお知らせ

新任医師紹介

院内でのとりくみ（院内ディケア）

麻酔科部長 山田 功
「麻酔と麻酔科のこと」



※完成予定図

医師担当表

(平成27年12月11日現在)

午前診	月	火	水	木	金
1診	高木 泌尿器	高木 泌尿器総合	能見 泌尿器	高木 泌尿器総合	
2診	奥田 内科	北川 内科	増田 循環器・内科	小島敬 初・総合診 / 内科	長谷部 総合・健診
3診	桑門 消化器	木下 循環器内科	北川 内科		奥田 内科
4診	蔵本 循環器・内科	井上 内科	小島敬 初・総合診 / 消化器	中本 循環器・内科	中嶋 内科
5診	吉川 外科	前田 内科		小島博 内科	
6診	1.3.5 管生 外科・総合 2.4 加藤 ・救急	吉川 外科	1 中原 2.4 吉川 外科・総合 3.5 管生	長谷部 総合・健診	1.3.5 山下 救急・外科 2.4 梶原 ・総合
7診	谷村 皮膚科	下村 外科乳腺		下村 外科	
8診	宇佐美 整外		宇佐美 整外		
9診	南 初・総合診 / 整外	本田 整外	南 初・総合診 / 整外	大原 整外	本田 整外
10診	吉村 整外	吉村 整外		宇佐美 整外	吉村 整外
21診		笠松 婦・総合	笠松 婦・総合	笠松 婦・総合	笠松 婦・総合
22診	小林 眼科	小林 眼科	小林 眼科	小林 眼科	小林 眼科
23診		石田 神経内科	細川 神経内科	辰己 明利 呼吸器	二階堂 乳腺外来
24診	本橋 歯科口腔外科	中野 歯科口腔外科	中野 歯科口腔外科	中野 歯科口腔外科	中野 歯科口腔外科

午後診 * 初・総合診察日時（月・水・木） 9:00～10:00

1診				能見 泌尿器	高木 泌尿器
2診				豊田 内科	
3診		藤澤 玲子 糖尿病内科		長谷部 総合	
5診		小島敬 内科		小島博 内科	城 糖尿病内科
9診			本田 整形外科	南 整外 (2.4)	
22診	小林 眼科			小林 眼科	小林 眼科
24診	中野 歯科口腔外科	中野・向井 歯科口腔外科	中野 歯科口腔外科	中野 歯科口腔外科	乙社 歯科口腔外科

夜診

1診	高木 泌尿器総合		北川 内科		
2診	小島敬 内科	子安 循環器			1.4 奥田 3 小島 2.5 北川
3診	浅井 内科	奥田 内科	安賀・光定 循環器・内科	小島博 消化器	子安 内科
4診			澤村 形成外科・総合診療	榎本 内科	
5診				中村 呼吸器	
6診		神戸 皮膚科		長谷部 総合	水田 皮膚科
7診	下村 外科総合	吉川 外科		下村 総合・外科	1.3.5 下村 外科 2.4 吉川
8診					
9診	本田 整外	宇佐美 整外	南 整外		吉村 整外
10診	吉村 整外	山崎 整外	本田 整外	大原 整外	宇佐美 整外

※急な変更が生じる場合もございます。

附近案内図

〒571-0025 大阪府門真市北島 288 番地
TEL 072-885-1711

社会医療法人蒼生会
蒼生病院

蒼生病院 検索

そうせいだより

編集
蒼生病院
広報委員

そうせいだより

の調整を行います。（呼吸管理と言います）

患者さんが手術を受けておられる間、枕元に付き添い、モニターや患者さんの身体を観察し、上で述べた事を常に調整しているのが「麻酔科医」です。

「麻酔医」という言葉がありますが、これは麻酔を行う医師全般の事で、正確には「麻酔科

医」とは異なります。日本では医師免許を持っているれば誰が麻酔を行っても法律上は許されます。「麻酔科医」とは日本麻酔科学会に所属し、

麻酔科認定医・専門医・指導医といった麻酔専門に修行をつんだ医師の事です。熟練した麻酔科医は、手術中に起こった患者さんの異常をモニターのアラームが鳴る前に察知し対処する



事が出来ます。手術中患者さんに付き添い、もし患者さんに異常が起りそうな時には、手術室に居る誰もが気付かないうちにその原因に対処し、患者さんの安全を守る事が麻酔科医の役目です。危険な煙が上がる前に火種を消し去る火消し役です。

すべての麻酔を麻酔科医が行うことが理想ですが、今の日本では麻酔科医不足のため実際には不可能な状態です。そのため麻酔科医のいない病院では手の空いた外科の医師が麻

酔を行うこともあります。

手術を受けるという事は患者さんの人生において大きなイベントだと思います。麻酔科医が患者さんと接するのは手術前後の短期間です。

しかし、もし皆様が手術を受けられることがあれば、その病院に麻酔科医がいるかどうかという事も病院選びの一因にされたらいかがでしょうか？

麻酔と麻酔科医のこと・・



麻酔科部長 山田 功

皆様の麻酔のイメージとはどのようなものでしょう？「手術の時に薬を使って眠らせるだけやろ・・」とよく言われますが、それほど簡単なものではありません。

手術室で行われる比較的大きな手術は、全身麻酔や、全身麻酔に脊髄くも膜下麻酔（半身麻酔と言われる腰から注射する麻酔、盲腸や帝王切開の時によく行われる麻酔です）や硬膜外麻酔（背骨の間に細いチューブを入れ部分的に痛みを和らげる麻酔、開腹手術の時によく使われます）を組み合わせて行われます。

全身麻酔の目的は
① 意識をなくす事
② 痛みを抑える事
③ 術野の安静を保つ事
と言われます

手術の時に患者さんが緊張されると、全身の血管が収縮し心拍数が増え、血圧が上がる事により出血量が増えてしまうので麻酔薬を使って意識をなくします。また、意識がない状態でも患者さんの身体は痛みに反応し、心拍数・血圧が上がり出血量が増えてしまうので麻薬などの鎮痛剤を使用し痛みを抑えます。しかし、全身麻酔薬や麻薬は、血圧や心拍数を低くするように作用し、呼吸も抑制しますので、麻酔薬や鎮痛剤の量を調整しながら眠りの深さや血圧、心拍数を適正な範囲に保つように麻酔を行っています。(循環管理、疼痛管理と言います)

手術をしている時に患者さんが不意に動かれたり痛くて動かれると危なくて手術ができません。そのために筋弛緩剤（きんしかんさい）という薬を使って患者さんの身体が動かないようにします。しかし筋弛緩剤を使うと呼吸をする筋肉も動かなくなるので、口から管を通して人工呼吸を行う必要があります。患者さんの身体に十分に酸素が行き渡り、体内の炭酸ガスを適正に排出するよう人工呼吸器

蒼生病院送迎バス路線図・時刻表



A コース → B コース



停留所	午前便			午後便			
	1便	2便	3便	1便	2便	3便	
Aコース	蒼生病院 出発	8:00	9:30	11:00	13:30	15:00	16:30
	門真団地	8:05	9:35	11:05	13:35	15:05	16:35
	御領バス停	8:10	9:40	11:10	13:40	15:10	16:40
	ディオ大東店	8:15	9:45	11:15	13:45	15:15	16:45
	西松屋前	8:17	9:47	11:17	13:47	15:17	16:47
	弁天池公園前	8:20	9:50	11:20	13:50	15:20	16:50
	門真四宮住宅	8:24	9:54	11:24	13:54	15:24	16:54
	四宮1号公園前	8:28	9:58	11:28	13:58	15:28	16:58
	四宮公園前	8:30	10:00	11:30	14:00	15:30	17:00
	蒼生病院 到着	8:35	10:05	11:35	14:05	15:35	17:05
Bコース	蒼生病院 出発	8:45	10:15	11:45	14:15	15:45	
	トップワールド前	8:48	10:18	11:48	14:18	15:48	
	打越交差点前	8:51	10:21	11:51	14:21	15:51	
	五月田小学校前	8:53	10:23	11:53	14:23	15:53	
	桑才交差点前	8:57	10:27	11:57	14:27	15:57	
	三島バス停前	8:59	10:29	11:59	14:29	15:59	
	MK観光バス駐車場内	9:05	10:35	12:05	14:35	16:05	
	門真団地	9:12	10:42	12:12	14:42	16:12	
	蒼生病院 到着	9:15	10:45	12:15	14:45	16:15	

感染症から身を守りましょう

ノロウイルスやインフルエンザなど冬になると感染症が蔓延します。早めの対策で感染症を予防しましょう。



冬になると感染症が流行するのはなぜ？

寒く、空気が乾燥する冬は最適な環境です。夏よりもウイルスが長く生存できるため感染力が強まります。空気が乾燥していると咳などに含まれたウイルスが小さくなり遠くまで飛びやすくなるため1度の咳による感染範囲が拡大しやすくなるのです。

感染症にかかるない

人にうつさないようにするために



● 手洗い・うがい

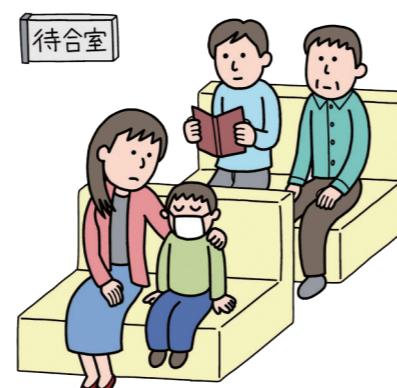
ドアノブなど普段触っているところにも病原体は付着しています。付着した病原体は手を介して口などから体内に侵入し感染します。帰宅時や咳・くしゃみの後、食事前など石鹼を使用しきちんと手洗い・うがいをする事で、ウイルスやばい菌から身を守りましょう。

● 咳エチケット（咳のあるときはマスクをする）

咳やくしゃみのある人がマスクを着用することでウイルスやばい菌の飛沫の拡散を防いでくれます。マスクの着用はかかるない、人にうつさないためにとても大切です。マスクを着用していても鼻の部分に隙間があったりしていると効果がありません。

鼻と口を覆うように着用しましょう。

マスクがない場合に咳が出るときはティッシュ等で覆い使用後はすぐに捨てるようにしましょう。



放射線科からのお知らせ

12月末にCT装置をGE社製64列Revolution EVOに更新致します。従来のCT装置と比較すると、性能が上がったのは勿論のこと、多様な機能が搭載されている装置になります。

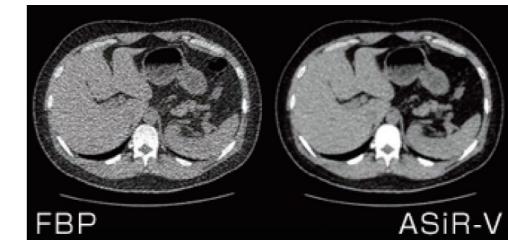
主な特徴

全身CT
検査時間
短縮化

全身検査高速**0.35秒フルスキャン**
ヘリカルピッチ1..531
インルームスキャン方式で検査効率短縮

極
低ノイズ
低被曝
高画質

91%ノイズ低減された**フルデジタル DAS Clarity**
検出器・新世代遂次ASiR-V・分解能向上



6年使用後の更新となり、装置自体は全く古さを感じられませんが、医療装置の技術的な進歩は2・3年ごとに変化しています。特に注目していただきたいのが、被曝線量を80%低減されていることです。撮影する部位により差はありますが、少ない線量でも画質は以前のCTよりかなり向上しているのが特徴です。

患者さんに安心していただけるように、これからも放射線科は、良質な医療を提供していきたいと考えております。

新任
医師紹介

外科

吉川 智 先生



10月1日より蒼生病院の外科に入職しました、吉川智です。平成11年に医師になり、主に消化器疾患を中心と診療してまいりました。患者さんが十分に病状を理解して治療方針を選択できるように、丁寧に説明することを心がけていますので、わかりにくいくことがあります。また、どんどん質問していただきたいと思います。微力ながらこの地域の医療に貢献できるように精進しますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

院内でのとりくみ

● 入院患者さんを対象に院内デイケアを始めました

病状の安定した患者さんを対象に日常生活リズムの改善や、その人らしい時間を過ごしてもらうことを目的として行っています。平日の14:00～15:00にリハビリの作業療法室で各病棟3～4人の患者さんを対象に行ってています。

内容
体操・風船バレー・オセロ・将棋・折り紙・塗り絵・積み木・歌・パズルなど



高齢の患者さんも多く、途中でしんどくなる患者さんもおられます。病棟では見られない笑顔があったり、また行きたいという声も聞かれたりしています。今後ももっと発展させていきたいと思っていますので、家族の方が入院された時は、参加希望や昔好きだったことなど情報を頂ければ幸いです。

寒い日が続いますが、みなさん体調を崩したりしていませんか？
今日は、冬を乗り切る健康対策についてご紹介したいと思います。

①乾燥対策

冬といえば、空気がすごく乾燥しており、寝ているときに喉が痛くなってしまうことがあります。乾燥対策で加湿器をつけて寝る方もいらっしゃると思いますが、濡れているタオルをかけて寝るだけで乾燥を防ぐことができます。また、寒いため窓をずっと閉めきっていませんか？窓を開け換気をすることは

ても良いことです。閉めきっていると暖房器具から発生する二酸化炭素や湿気、ハウスダストが室内にとどまってしまいます。また、人間も空気の汚染の原因です。人が活動している以上空気は汚染されています。2時間に1回の換気を心がけましょう。

②水分補給

夏は喉が渴くのでよく水分を取りがちですが、冬は暖房器具などにより乾燥しがちなので、体の水分が不足しております。体の水分量が減ると血液が濃くなり、血流・血行が悪くなります。この時期血圧が高くなったり、脳梗塞などが増える

のは冷えと相まって水分不足の影響があり、こまめな水分補給が必要となります。また、緑茶には殺菌作用（カテキン）が含まれており、うがいにも効果的です。しょうが湯なども体を温めるのに良いですよ。

③保湿対策

肌に良い湿度は65～75%と言われています。肌を乾燥から守るために、まず正しい洗顔を行うことが大切です。肌に刺激を与えない汚れを洗い流すには洗顔料を手のひらで十分に泡立てて使用することが大切になってきます。決して擦らず泡で包み込むように洗いましょう。すぎぎは、特に丁寧に行なうことがポイントです。

洗顔後のふき取りは、タオルで優しく抑えるように顔の水分を拭き取ってください。



信頼される地域医療を目指して ~蒼生病院 新たな時代へ~

私たち蒼生会は、昭和 57 年の開設以来、急性期病院として地域の皆様の立場に立った医療サービスの提供に努めてまいりました。救急医療をはじめとする地域のニーズにこたえるべく、平成 27 年 1 月には社会医療法人蒼生会として新たなスタートをきりました。「信頼される地域医療を目指して」との理念のもと、全ての患者さんに安全・安心で良質な医療を提供すべく、私たちはさらなる発展をめざして、新病院の建設を計画、現在準備を進めております。

平成 29 年春に予定している新・蒼生病院では、現在の病院のもつさまざまな課題の解決を図りながら、地域の皆様が安心して医療を受けることができるよう、以下のような計画を策定しております。

- ・地域の救急医療ニーズにこたえるべく、救急医療対応の設備及び手術室の拡大・充実を図ります。

- ・売店、喫茶スペースの設置

- ・待合室の拡大

現在の待合（現状 350 m²）を大幅に拡大し、総合待合（238 m²）・外来待合室（269 m²）、さらに検査室・レントゲン室・内視鏡室等にもそれぞれ待合室を設け、患者様にご負担をかけない十分なスペースを確保します。

- ・トイレ、手洗いの充実

外来・病棟ともに車椅子等の利用に配慮した、オールバリアフリーのトイレ・手洗いを設置し、設置数も現在に比べて多く増やします。

- ・病棟、入院施設の充実

全病室にパイピング設備（酸素・吸引等）を設置、廊下幅も広くすることで患者さんのニーズに対応し、迅速で安心・安全な医療サービスを提供します。また、リフト付き浴室や洗髪室を設け、IC 室（説明室）・面会室を新たに設置することで、快適で穏やかな入院生活が送れるように支援させていただきます。



※完成予定図

新病院の建築・移転につきましては、工事等で種々患者さんや地域の皆様にご迷惑をおかけし、ご協力いただくこともあると思います。よろしくお願ひいたします。私ども職員一同、これからも地域住民の健康を支援するとの使命感を胸に、日々の自己研鑽と業務に励み、信頼される病院づくりを目指してまいります。